

〈新設「変容を迫られるIT監査と多層的モニタリングの具体的進め方」第1回例会との合同開催〉

# システム化投資を無駄にしないシステム化事前評価

～経営戦略、情報戦略、全体システム化計画、個別システム化計画の整合性を問う～

- 日 時■ 2015年 11月19日(木) 13:30～16:30  
 ■会 場■ 全国町村会館(東京・永田町) TEL 03-3581-0471  
 ■講 師■ 川辺 良和氏 (有)インターギデオン代表 システム監査学会理事

情報が経営資源の構成要素の1つとして位置づけられた現在、システム化投資の可否を判断する場面が増えています。情報システムの開発と運用期間の長さを考慮すると、その重要性は言うまでもありませんが、必ずしも適切な評価者と判断材料が揃っての判断評価は少ないようです。本セミナーでは、そうしたシステム化投資の基本的考え方についてお話しします。多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

## ■ 申込要領 ■

申込方法：必要事項をご記入の上、下記宛てファクスもしくはEメールにてお申し込みください。

折り返し、受講票ならびに請求書を送らせていただきます。

※ファクシミリでご送信いただく際は、ファクシミリ番号をお間違えないようにご注意ください。

申 込 先：一般社団法人 企業研究会 担当：福山

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-6-2 麹町 M-SQUARE 2階

TEL：03-5215-3513 FAX：03-5215-0951～2 Eメール：fukuyama@bri.or.jp

ホームページ：http://www.bri.or.jp (会員企業一覧は、こちらからもご確認いただけます。)

参 加 費：当会法人会員：32,400円(本体30,000円) / 一般：35,640円(本体33,000円)

・費用は1名分(資料代を含む)です。なお、お申し込み後のキャンセルは原則としてお受け致しかねますので、ご都合が悪くなられた場合は、交替の方のご参加をお願い申し上げます。

【参考】新設「変容を迫られるIT監査と多層的モニタリングの具体的進め方」とは  
 当会アドレス <http://www.bri.or.jp> または検索エンジンで「企業研究会」。[\[トップページ\]](#)→[\[塾・ビジネススクール\]](#)  
 →[\[6. 経営管理\(経理財務、法務、監査、IT等\)\]](#) → [\[変容を迫られるIT監査と多層的モニタリングの具体的進め方\]](#)

## ■ 申込書 ■

◆ IT 監査と多目的モニタリング・セッション1 (コード:150302-1) 申込書 2015年 月 日

氏名		会社名	
所属・役職		会社住所 (〒)	
TEL		FAX	
Eメール		主な職歴	
備考			

\*お客様の個人情報は、本会合の連絡や名簿の作成、および、当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

〈新設「変容を迫られるIT監査と多層的モニタリングの具体的進め方」第1回例会との合同開催〉

# システム化投資を無駄にしないシステム化事前評価

～経営戦略、情報戦略、全体システム化計画、個別システム化計画の整合性を問う～

11月19日(木)

● プログラム ●

13:30～

## システム化投資を無駄にしないシステム化事前評価

～経営戦略、情報戦略、全体システム化計画、個別システム化計画の整合性を問う～

講師：川辺良和氏 (有) インターギデオン代表 システム監査学会理事

### (1) はじめに

「情報」がヒト、モノ、カネと並ぶ経営資源として認識され、情報システム自体の良し悪しが企業の経営に重大な影響を及ぼす状況を踏まえ、これまで以上に「システム化投資を無駄にしないシステム化事前評価」が重要になっていることは言うまでもありません。

ここでは、情報戦略や企画業務等のシステム化の最上流のシステム監査の考え方をベースに「整合性」、「全体最適と優先順位」、「実現可能性」の3つのキーワードをベースにして「システム化投資を無駄にしないシステム化事前評価」について考察します。

### (2) 経営戦略から個別システム化計画、3つの整合性

- ①情報戦略の経営戦略への整合性
- ②全体システム化計画の情報戦略への整合性
- ③個別システム化計画の全体計画への整合性

### (3) 全体最適と優先順位

- ①システム化決定プロセスの明確化と適切性
- ②システム化決定評価者の妥当性
- ③システム化対象の経営方針への適合性

### (4) 個別システム化計画と実現可能性

- ①期間と要員に見る実現可能性
- ②設備と費用に見る実現可能性
- ③目的、方法、効果に見る実現可能性

### (5) システム化事前評価ケーススタディ

- ①システム化事前評価ケーススタディ：自己演習
- ②意見交換

### (6) 「システム化投資を無駄にしないシステム化事前評価」のまとめ

3つのキーワード、ケーススタディと意見交換をベースに今後の監査の課題を展望します。

16:30

【講師紹介】川辺 良和氏 (有) インターギデオン代表 システム監査学会理事

- ・経歴：1980～89年日本鉱業(株) (現JXホールディングス) 情報システム部勤務、1989年(有)インターギデオン設立、1991年経済産業省登録システム監査企業、2002年公認システム監査人CSA 特別認定講習実施機関認定
- ・資格：ISMS主任審査員、公認システム監査人、特種・システム監査技術者、プロジェクトマネージャ、
- 著書：システム監査基準解説書(共著：経済産業省監修)、プライバシーマーク監査ガイドライン(JIPDEC) システム監査入門(共著：コンピュータエイジ)、システム監査午後重点対策(アイテック)等多数。